

業務状況説明書

(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

富士見市水道事業

1 令和7年度下半期の状況

(1) 事業の概況

ア 営業

令和7年度末における給水人口は、113,367人で、前年度末に比べ509人の増加となっています。

年間配水量は、11,167,540 m^3 で、前年度に比べ70,820 m^3 の増加となっており、給水人口増加により、配水量が増加しました。

区 分 \ 年 度		令和7年度 (年度末)	令和6年度 (年度末)	比 較	
				増減	比率 (%)
給水人口 (人)		113,367	112,858	509	100.45
配 水 量	総 量 (m^3)	11,167,540	11,096,720	70,820	100.64
	1日最大 (m^3)	33,360	33,110	250	100.76
	1日平均 (m^3)	30,596	30,402	194	100.64

イ 建設改良事業費

老朽管更新事業については、針ヶ谷2丁目地区の配・給水管布設替（R2143外）工事を実施しました。

浄水場改良事業については、水谷浄水場次亜注入設備更新工事、水谷浄水場 No.4 配水ポンプ更新工事、東大久保浄水場配水用残留塩素計更新工事、水谷浄水場真空ポンプ等更新工事を実施しました。

配水管改良事業については、大字鶴馬地区の送水管布設（富士見上南畑地区産業団地整備事業）工事、配・給水管布設（富士見上南畑地区産業団地整備事業）工事、諏訪1丁目地区の配・給水管布設替（R1364外）工事を実施しました。また、舗装本復旧（R27）先行工事についても実施しました。

なお、南畑橋水管橋耐震補強工事、江川水管橋塗装工事、南畑橋水管橋下部橋台耐震診断調査業務委託、舗装本復旧（R27外）工事につきましては、工法に変更が生じたことなどから、令和8年度に繰越しをいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目		予算現額	執行額			執行率 (%)
			上半期	下半期	計	
収入	事業収益	1,895,709	849,042	1,029,506	1,878,548	99.09
	営業収益	1,823,149	847,451	955,136	1,802,587	98.87
	営業外収益	72,060	1,203	74,368	75,571	104.87
	特別利益	500	388	2	390	78.00
支出	事業費	1,796,920	471,489	1,196,661	1,668,150	92.83
	営業費用	1,758,754	469,368	1,162,573	1,631,941	92.79
	営業外費用	36,166	2,100	34,066	36,166	100.00
	特別損失	1,000	21	22	43	4.30
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目		予算現額	執行額			執行率 (%)
			上半期	下半期	計	
収入	資本的収入	77,488	0	69,348	69,348	89.50
	他会計負担金	4,800	0	950	950	19.79
	工事負担金	72,688	0	68,398	68,398	94.10
支出	資本的支出	868,082	125,533	384,706	510,239	58.78
	建設改良費	790,113	86,758	345,513	432,271	54.71
	企業債償還金	77,969	38,775	39,193	77,968	99.99

2 令和8年度予算の概要

(1) 予算編成概要

令和8年度の水道事業会計予算については、給水戸数の増加が見込まれますが、生活様式の多様化、節水機器等の普及により世帯当たりの使用水量が減少していることから、水道料金収入は微増であると見込んでおります。

その一方で、物価高騰の影響により、水道施設等の維持管理費、委託料及び老朽管の更新や配水管の改良工事等の費用が増加することが見込まれることから、将来にわたり安全・安心で安定的な水道水の供給を可能とするために必要な事業を中心とした予算編成に努めました。

(2) 業務の予定量

年 度 区 分		令和8年度	令和7年度	増減
給水戸数（戸）		57,456	56,276	1,180
配 水 量	総 量（m ³ ）	11,365,835	11,302,735	63,100
	1日平均（m ³ ）	31,139	30,966	173

(3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比3.4%増の19億6,069万3千円、支出は、前年度比10.0%増の19億7,703万6千円を計上しております。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比83.7%減の1,260万7千円、支出は、前年度比114.7%増の11億553万円を計上しております。収入が支出に対し不足する額10億9,292万3千円につきましては、損益勘定留保資金等で補填するものとしています。

(4) 収入支出明細書

収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益			1,960,693	
	営 業 収 益		1,833,589	
		給 水 収 益	1,568,667	水道料金の予定額を計上
		受 託 工 事 収 益	12,019	受託工事収益の予定額を計上
		補 償 金	1,060	修繕工事による補償金の予定額を計上
		加 入 金	180,785	加入申込金の予定額を計上
		そ の 他 営 業 収 益	71,058	他会計負担金、下水道使用料徴収受託料等を計上
	営 業 外 収 益		126,604	
		受 取 利 息	8,400	預金利子の予定額を計上
		消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	57,305	消費税及び地方消費税還付予定額を計上
		長 期 前 受 金 戻 入	60,237	長期前受金の戻入予定額を計上
		雑 収 益	662	その他雑収益を計上
	特 別 利 益		500	
		過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用			1,977,036	
	営 業 費 用		1,971,836	
		原 水 及 び 浄 水 費	1,101,288	浄水及び送水に必要な経費を計上
		配 水 及 び 給 水 費	190,327	配水及び給水に必要な経費を計上
		受 託 工 事 費	12,144	受託工事に必要な経費を計上
		業 務 費	173,168	検針及び収納に必要な経費を計上
		総 係 費	60,636	事務運営に必要な総括的経費を計上
		減 価 償 却 費	430,763	償却資産に対する減価償却費を計上
		資 産 減 耗 費	3,510	固定資産除却費等を計上
	営 業 外 費 用		3,200	
		支 払 利 息	2,200	企業債及び一時借入金利子を計上
		雑 支 出	1,000	その他雑支出を計上
	特 別 損 失		1,000	
		過 年 度 損 益 修 正 損	1,000	過年度損益修正損を計上
	予 備 費		1,000	
		予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			12,607	
	他 会 計 負 担 金		4,800	
		他 会 計 負 担 金	4,800	一般会計からの負担金を計上
	工 事 負 担 金		7,807	
		配 水 工 事 負 担 金	7,807	開発に伴う配水工事負担金を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出			1,105,530	
	建 設 改 良 費		1,049,285	
		建 設 総 係 費	32,034	建設に必要な事務費を計上
		老朽管更新事業費	241,590	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		浄 水 場 改 良 費	709,500	浄水場改良に必要な工事費等を計上
		配 水 管 改 良 費	61,320	配水管布設工事費等を計上
		量 水 器 費	4,841	量水器在庫予定額を計上
	企 業 債 償 還 金		56,245	
		企 業 債 償 還 金	56,245	企業債元金の償還金を計上